

## こだわり・自慢の設備・得意な作業

各器材が比較的高価なので安く上げる為、自分で作れそうな物は思考錯誤して自作しております。

### - 1 工房本体 (自作) (写真 P - 1)

2年前までは1階駐車場で作業していましたが、夏は暑く冬は寒いので(当たり前ですが)元々内装業(15年前までですが)だった為、現内装業の友人と工房自体自作しました。(6畳ほどです。本当は8畳位欲しかったのですがスペースなどの問題から・・・廃材など使用して、10万円以内で出来ました)

扉は近所の店がりホームする時、廃材になったとの事で貰ってきたものです。

外壁は自宅を作った時あまった物を10数年おいてあった物・・・

置き床にしてある為、床にカップを開け2mほどですがパットの練習も出来ます。(写真 P - 9)

- 2 作業台 (スチールの棚を2つに分け天板部にコンパネ、300角のタイル、透明シートを敷いてあります。2つ分で15,000円位・自作)

- 3 シャフト収納棚? (3,000円位・自作) etc・・・(写真 P - 1)

シャフト剛性測定器・・・(15,000円位・自作) (写真 P - 2)

剛性値など細かな数値は出ませんがスパインを探す為

将来的には本物のシャフト剛性測定器が欲しいです。

これとは別に簡易的なもの(1,500円位・自作)もあります。

- 1 ヘッド測定定規-1 E-T値測定器(仮称)・・・(2,000円位・自作) (写真 P - 3)

この定規は60度測定した底部からシャフト挿入後のシャフトチップ先端までの距離を測るものです。

ヘッドをヘッド測定定規-1にセット(ヘッド底部は60度になっています。)

1. ホーゼル上部の長さを測ります。ホーゼル内に挿入するアルミ棒の先は定規の0mmとなります

2. アルミ棒をホーゼル内に挿入してシャフトがどこまで入るか計ります。

3. ホーゼル底部から60度測定した地点までまで測ります。

自称「E-T値」と呼んでいます(60度のHEEL ENDのEとTIPのTからとった物です。

ヘッドのスペック表など見てもこの値は記されていないようです。

差し込み固定しろ(標準的には30~40mm位)でシャフトを固定しますが

「E-T値」も大変重要だと思います、以前使っていた「r7 TP」にシャフトを入れ替えた所、思っていたより柔らかくなってしまい計ってみると「E-T値」が長かった(当然クラブ長さも長くなりバット側もカット) メーカー、種類により数値が違いますので、この部分が長いと振動数計で変化が出ます、多少キックポイントの位置もバット側に移動しますので、

挿入深さ（接着部分）など考慮してチップカットなどします。

インターネットで検索などしましたが何故か、この様な測定がされないのが不思議です。

**- 2 ヘッド測定定規-2（仮称）・・（3,000 円位・自作）（写真 P - 4）**  
**（アイアンセットなど統一をもたせる時に使用）**

ボルト部分にヘッドを挿してホーゼル長さ、深さを測ります。

計って見るとセット物のアイアンでも結構バラバラな物のある為  
基準深を決める為に使います。

基本的には、60 度測定で交わる部分からホーゼル深さ底面（シャフト底面）を一定させる。

\*ホーゼル深さを一定にただけではホーゼルの長さがセット内でも微妙に違う為（特にウエ  
ッジなどはホーゼルが長い、ピッチングより PS の方がヘッド側のファーストステップの間隔  
が長くなってしまう。）

**シャフト長定規（仮称）（1,000 円位・自作）（写真 P - 5）**

-2 のヘッド測定定規-2 で計った後、基準値より、ホーゼル深さが浅ければ  
ドリルで削る（ヘッドが重い場合）又は、シャフトチップ側を落とす（ヘッド重量が基準値  
or 軽い場合）深ければその分隙間を作るように

その後、シャフト長定規（仮称）に置きバット側にカットする仮線を入れる。

定規チップ側は 0.5inch 段差にしてありカット後、ソケットを一定深さに挿入。

接着後、もう一度長さの方を確認のうえバット側をカットします。

ステップ感覚もそろい±1mm以内の誤差で製作できます。

説明が上手く出来なくてすみません。

**- 1.アイアンコルク破断？ドリル（仮称）（ドリルの歯、アルミ 棒、扉の取手で製作）（1,000 円位・自作）（写真 P - 5）**

鉛止めのシャフト内に固定してあるコルクをグリップ側より挿入、手でまわしてコルクを  
除去する為に製作

**- 2.PC ソフト （無料・自作）（写真 P - 2、 9）**

クラブスペックを入力し流れが一定しているか分析（エクセル）

自作の為完璧ではありませんが・・・

**その他使用器材（市販品）**

SANKO スイングバランサー（目盛り針式）

SANKO ヘッド抜き工具 H-2 PRO

SANKO バイブロスコープ V3-P（振動数計）

ロフト・ライ計測器（黒でペイント）

ロフト・ライ調整器

グリップリムーバーガン

電動工具、万力

ウォーターサーバー（飲料水用ですが熱湯も出る為ソケットを柔らかくして挿入しやすくしま  
す。）・・・など

## 補足

### 1 「六十度くん」について・・・(写真P - 6)

下面には、固定用の両面テープが貼ってあり、作業台などにも取付け可能。

とありますが取り付けてしまうと結構邪魔になります。

写真の用に（自作ですみません）

下にガイドをつけて使用していますが作業台に乗せなくてもスライドしますので結構便利です。その際「目盛り0」の方がバット側になります。（0地点にずれ防止の為に角度をつけてあります。）

### 2 振動数計用ダミーヘッド重量体

こちらの商品持っていますが、組み立て後と振動数が合いません。

\* -1 ヘッド測定定規-1 で書いたことも影響すると思います。

実際使用するヘッドとシャフトを上手く仮組みの状態でも固定できる物があれば振動数はもちろん

シャフトのブレ（スパインの微調整、12-6時や9-3時方向といわれていますが重心距離や重心深度など個々のヘッドにより変わると思いますので、微調整が必要となります。）

私はホーゼルとシャフトの隙間にプラ板（厚さは3種類程用意）をかませて振動数計にかけますが、ヘッドが回転（上下しながら）してしまっている時、その都度新しいプラ板と取り替えなくてはなりません。

過去にアルミ製+ネジ式で試作品を作ったのですがやはり振動に耐えられないという問題が発生（軽量化も難しい、多くとも5g以内できれば2~3g程度）してこちらは、次回作を思案中です。

このような物があれば、大変便利だと思いますが・・・

## 得意な作業

スパイン調整

組み立て

リシャフト

重量、振動数の最適化

完成後ロフト・ライ調整（鍛造アイアン）

など一通り出来ます。

### アイアンロフト・ライ調整、他について・・・

ロフト・ライ調整はプル角の考慮もありますが、被り顔が好きでない為一旦すこし余分にフラットにしてそれから被りをなくす様に調整していく。将来的には本格的なロフト・ライ調整器が欲しいと思っています。

シャフトを右から挿すとよく言いますが9.4mm穴に9mm径をパッキンを入れて行ないますと軸が2つ出来てしまい・・・というのは

以前、自分のドライバーで350穴に335のシャフトを（限界まで右から挿す為チップ先端を斜めに削った）挿したところ、とても振りにくかったです。

ヘッドを下にしてグリップ部分を（掌でこする様に）回すとヘッドがぶれる

これはシャフト軸線とホーゼル軸線が一致しない為に起こる？

と思った（最近ではシャフトの角度が変えられるドライバーなどがあるが。）

から、なるべくアイアンはセンター挿しでその後ロフト・ライ調整をしています。

ウッドでしたら多少隙間があれば右から挿入することはありますが、（極端にはやらない様にはしています。）

アイアンの場合右から挿す事によってシャフト軸線との兼ね合いやロフトなどの数値が（起きてしまう）のもあるのでなるべくまっすぐ挿しその後ロフト・ライ調整をしています。

クラブ製作（組み立て・リシャフトなど）は15年以上やっていますが、やればやるほど奥が深いです。

人それぞれスペックなどでは表せない感覚がある為、友人から頼まれた物などは大変です。

いろいろ注文を付けその度にいろいろ考えてやってきた為

今では依頼に答える事がかなり出来るようになりました（まだまだ完璧ではないですが。）

出来あがった物も試打する事ができヘッドとシャフトのマッチング、依頼者（友人）と自分の感覚の違いなども分かるし、数値的に完璧だと思ってみても、良くなかったり、数値的に納得いかななくても、その人には良かったりと興味深くとても勉強になります。

ゴルフのプレー自体よりクラブ製作の方が腕が上がってしまい・・・？

クラブ（山梨、某 CC）の HC も 2 年近く「7」で止まってしまっています。

（購入後 3 年で HC.8 になったのですが、その直後「首のヘルニア」になり 8 年ほど満足にゴルフができなくなってしまいました。（その間スイングもおかしくなった。）

5 年前に手術してその 2 年後に HC.8 から HC.7 になりました。）

今年中には片手シングルになれる様にと 1 月からスイング改造に励み・・・もがき苦しんでいる次第。

ショットとというよりもアプローチが苦手ではありますが・・・

工房横にフルショットは出来ませんが、ボールがリターンする練習場？を作ってハーフショットやアプローチなど練習しています。（写真 P - 10）

.....

最後にジオテックさんには日頃から大変お世話になっています。

企業努力もあり最近では、雑誌などでもよく取り上げられているのを見かけます。

ここ 2~3 年、ジオテックさんのドライバー（最新の物は購入しておりませんが）はかなり良くなっていると思います。

ただ、打感に関してはもう少し柔かめの方が上級者には受けが良いとは思いますが。

G T シリーズはある程度の上級者用と言う事でスタートしたと思いますが、最近はその中にやさしさを取り入れ、中・上級者用（モデルによっては初級者も使ってしまう）になってしまっているような気がします。（他社のスリクソンなども G i E などと言うアイアン（とてもスリクソンブランドとは思えない）を出したりとブランドに対するこだわりと言うものが少し足りない気がします。）

その為、H S が 46 を超えてくると（シャフトにもよりますが）ボールの回転数が多くなり球が吹き上がりやすくなるように思います。

ドライバーに関しては現在 JBEAM FX BM-435 & クレイジー ブラック 50(W)フレックス S（先端 1 インチカット・44.25 インチ）を使用しています。

現在、ジオテックさんでも JBEAM FX BM-435（クレイジーオリジナルヘッド CRZ-435）を取り扱っている様ですが

やはりこの様な叩いても吹き上がらないヘッド（ただ打感が思ったほど良くありませんでしたが取替ウエイトを隠すように鉛（3g ほど）を貼るとかなり柔らかく感じるようになりました。）をぜひ作ってもらいたいと思います（前に GPM シリーズがありました・・・）。

軟鉄鍛造アイアン（マッスルバックなど）でも素材に SS 4 0 0 を使用する（製法が難しいようですが・・・）とかすればかなり注目されると思います。

ただ、価格設定にもよりますが・・・

余談ですが、新商品がどんどん価格が上がっている気がします・・・

### アイアンホーゼル径について・・・

最近ではテーパチップ（9mm径）のシャフトが標準化しています。

9.4mm径ですとテーパを挿す時にセル管を入れたりと何かと不便です。

確かに9.0&9.4両方使えて便利なような気がしますが、私の経験上ダイナミックゴールドの平行シャフト（適正チップカット後）はテーパの物とは別物の様な気がしますし長い物ほどカット後のシャフト重量が重くなってしまふというデメリット（メリットがあるという人もいるとは思いますが）が発生してしまふ。

一昔と違い今の時代の消費者は良い物を安く（インターネットなどの普及もありますが。）を望んでいる方が多いのも事実です。（もちろん、そうでない人もいますが）

その一方で、有名メーカーのシャフトも3~4万円台するのも当たり前で

ドライバーはリシャフトしたけど、FWは買ったときのままのシャフト（ドライバーが60g台でFWが50台という様に）で使っているという人が多いのも3~4万円台するシャフトをFWの本数分つけられないというのが大多数の意見だと思います。

そういう所からも企業努力でオリジナルの70g、80g、90g台の安くて高品質のシャフトを品揃えしてもらいたい所です。

3Wもいまだに10年以上前のプロトタイプ（写真P-10）（定かではないが、前のダイナミック・ゴルフ時代かも知れませんが。AXIV8080（X）4.3インチで使用、塗装がかなり剥がれていますがいまだに使っています。

その後、友人にも作ってあげたのですが、その友人もいまだに手放せないそうです。

殆ど、ティショット専用（ヘッド厚が厚い為）はなりますが、今まで打ってきた中で最高の3Wと思います。

最近ではどのメーカーもシャローフェースの物しかなく（2打以降を打つ為？）ティショットではテンブラするのではないかと不安になるし、厚い当たりを出すのが難しいです。

このようなヘッドも是非復活させてほしいものです。

ゴルフ用品の世界は面白い物で有名選手が使った古い物（ミケルソンが使ったPINGのウェッジとか石川遼や2、3年ぐらい前ですが上田桃子の古い型のパターなど）がちょっとした事がきっかけで流行ってしまうというのも事実です。

パーツメーカーの強みから是非ともこの様なヘッドを復活させていただきたい物です。

自宅工房の事だけでなく、長々と関係ない事まで書いてしまい（かなり辛口なところもありますが）申し上げますが）申し訳ございませんでした。

これからも、利用させていただきますのでスタッフ様一同頑張って、安くて良い商品を提供して下さるよう心より応援しております。